

平成 25 年度 北海道校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区 : 帯広市
- 2 事例報告学校名 : 帯広市立啓北小学校
- 3 報告者職・氏名 : 校長・木下 剛
- 4 キーワード : 地域ネットワークを生かした教育活動



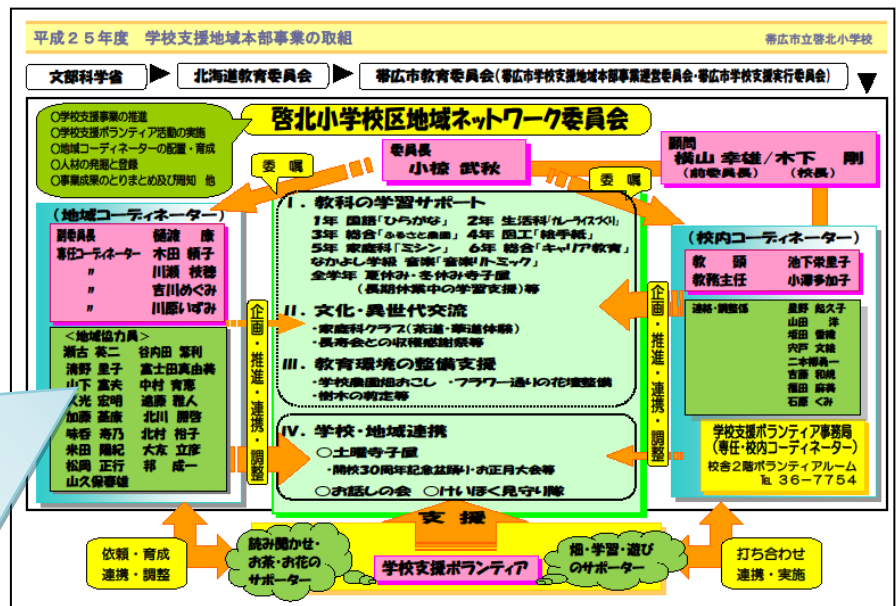
はじめに

変化の激しい今日の社会において、子どもたちに「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」を育むため、学校では家庭・地域社会と連携した開かれた学校づくりや特色ある教育の推進が求められています。地域に開かれ信頼される学校をつくとともに、児童・教師・地域住民のつながりを強め、地域総がかりで子どもたちを育てるための連帯感を形成・向上させるには、学校を「地域の核」として地域住民が積極的に学校を支援することが望まれます。

学校支援に関するコーディネーターやボランティア組織、及び教科の学習サポートや異世代の交流活動等についての取組を以下、紹介します。

I 活動を支える組織

活動は「啓北小学校区地域ネットワーク委員会」を中心に推進されています。このネットワーク委員会は、PTA を含む学校関係者と学校・地域それぞれから選出されたコーディネーター、更には町内会や老人会などの関係者、そして地域在住の生涯学習推進委員の方々などによって組織されています。組織化から既に6年が経ち、学校としては、最も頼りになるボランティア組織として、日々力を貸していただいています。



II 具体的な活動の概要

本校の学校支援活動には大きく4つの柱があります。

(1) 「教科の学習サポート」

教科等のねらいに沿って、ボランティアが外部講師や補助員となって、子どもたちの勉強をサポートしようというものです。

- 平仮名やドリル学習等の個別指導補助
- 夏休み寺子屋における基礎的なドリル学習の補助
- 裁縫、調理など家庭科の外部講師
- 昔遊びの指導など生活科の外部講師など



(2) 「文化・異世代交流」

地域の幅広い年代層の方に学校に来ていただき子どもたちと関わっていただくことで、子どもたちに礼儀や作法、規範意識、人間関係の調整力などを育もうというものです。

- 茶道や華道を通して礼儀や作法の指導
- 読み聞かせや朝の読書の指導
- 農業体験や食の指導など



(3) 「教育環境の整備支援」

地域の力を借りて校舎周辺の環境を整備し、学校の魅力を向上させようという取組です。

- 学校農園や学校花壇、地域花壇(フラワー通り)の整備補助
- 樹木の剪定作業など



(4) 「学校・地域連携」

学校と地域住民が一緒になって、様々なプログラムを計画し、実践する取組です。

- 土曜寺子屋 (みんなの盆踊り・お正月大会・搾乳体験など)
- お話の会
- けいほく見守り隊



Ⅲ 成果と課題 ~更なる充実に向けて~

過去6年間にわたる取組の結果から、以下のようなことが成果及び課題として挙げられます。

(1) 成果

- 学校が開かれ、来校者が多くなってきたことで、教育活動が活性化し学校改善につながっている。
- 子どもたちは花壇や陶芸など、その道の達人から直接教わることにより、大きな刺激を受け、学びが深まってきている。
- 子どもたちは地域の方々との挨拶やコミュニケーションが上手になり、地域をより身近に感じるようになってきている。

(2) 課題

- 学校のニーズに応じた支援活動の実施を基本とすることが重要である。何をどのように支援されると有効なのかを検討すること、年間を見通した支援計画を設定することなどが必要である。
- コーディネーターの確保・養成、ボランティアの参加・協力が重要であり、仕組みづくりやスムーズな活動を推進するためには、教職員の積極的な関わりが欠かせない。また、マンネリ化を避け絶えずプラスαの発想をもって企画することや活動ごとに中心運営者を交代していくことが活性化につながる。
- 地域の方々の願いや思いをとらえ、適時適切に「ネットワーク通信」や「学校便り」、ホームページなどを通して、積極的に情報発信していくことが大切である。

啓北ネット通信
平成24年8月21日 NO. 188
啓北小学校地域ネットワーク委員会発行

大盛況!
夏休み寺子屋

夏休みに入っすぐの7月の27日(金)と30日(月)、今年も恒例の「夏休み寺子屋」が開催されました。今年のはべ100人以上の児童が参加する盛況ぶりでした。
1回玄関ホールで受付を済ませると3階の学習室へ。低・中・高学年別に3クラスが用意してありました。どの子も教室に入ると、早速持参してきたプリントや夏休みの宿題に取り組んでいました。学習意欲満々の子どもたちに、負けてはいられないと、サポーターの皆さんも赤ペン片手にいざ教室へ!!

低学年

子どもたちの会話も
楽しみながらマンネリ
マンネリの抜けです。

中学年

真面目に取り組んで、宿題
のプリントがどんどん
進んでいます。

高学年

ちょっとからかい時には、
サポーターの先生が的確な
アドバイスをくれます。

今年も、地域のボランティアの皆さんや、帯広大谷短大の皆さんが協力して下さりにぎやかな寺子屋となりました。この寺子屋で宿題を済ませてしまった皆さんは、自由研究や読書にもたっぷり時間をかけて、より有意義な夏休みとなったことでしょうね。サポーターの皆様お疲れさまでした!!